

# 2014年 経済情報学科教員業績一覧

(2014年1月～2014年12月)

渋谷 正

< 発表論文 >

「『ドイツ・イデオロギー』の復元の歴史 異文表記史概観」, 東北大学経済学会『研究年報 経済学』大村泉教授退職記念号, 第74巻第3号, 2014年3月

松川 太一郎

< 発表論文 >

「警察の犯罪統計作成におけるモラルハザードについて」 鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科(博士後期課程)地域政策科学専攻『地域政策科学研究』, 第11号, 2014年3月。

< 学会報告 >

「経済統計に照らした, 自動車盗に関する犯罪統計と暗数の検討」 九州経済学会第64回大会(九州大学), 2014年12月。

< その他 >

(研究ノート)「『犯罪統計入門 第2版 犯罪を科学する方法』における「犯罪統計」, 「妥当性」・「信頼性」概念について」 鹿児島大学法文学部『経済学論集』, 第83号, 2014年10月。

永田 邦和

< 発表論文 >

「金融機関の店舗と預金市場の市場規律」, 鹿児島大学法文学部『経済学論集』, 第83号, 2014年10月

< 学会報告 >

「預金市場の市場規律と追い貸し」, 生活経済学会九州部会(鹿児島大学), 2014年11月22日

三浦 壮

< 発表論文 >

「昭和戦前期における宇部石炭鉱業の生産, 市場, 資本蓄積に関する一考察」, 『宇部地方史研究』第42号, 宇部地方史研究会, 2014年7月, 1～30頁。

「近代徳山毛利家の不動産投資について」, 『経済学論集』第83号, 鹿児島大学経済学

会，2014年10月，1～56頁。

<学会報告>

「明治期における華族資本の展開と工業化投資——旧岩国藩主吉川家の土地・株式投資を事例として——」，社会経済史学会九州部会（於：九州産業大学），2014年7月27日

<その他>

[受賞]

社会経済史学会賞（2012・2013年度），2014年5月24日

[招待講演]

「炭鉱資本家と宇部地域の鉱工業化」宇部地方史研究会総会講演会，宇部市教育委員会・宇部地方史研究会主催（於：まなびの森くすのき，2014年7月20日，宇部市）

「現代的意義からみる渡辺祐策と宇部の歴史の再評価」渡辺祐策翁生誕150周年記念講演会，宇部市文化創造財団主催・宇部商工会議所共催（於：渡辺翁記念会館，2014年8月31日，宇部市）

中島 大輔

<その他>

（翻訳）

「ドイツ，EU 関連ニュース」（EU の拡大および機構改革に関するドイツ語ニュースの翻訳・WEB 公開。2014年1月～12月まで計81本）

城戸 秀之

<発表論文>

「現代社会における社会空間の変容と地域情報化の社会的位相に関する試論——大分県3市のケーブルテレビ事業を事例として——」鹿児島大学法文学部『経済学論集』，第83号，2014年10月。

大前 慶和

<学会報告>

「環境活動を活用した大学生教育事例」生活経済学会（長崎大学経済学部），2014.6

<その他>

（報告書・分担執筆）『鹿児島大学 Sustainable Campus Project (SCP) 2013年度活動成果報告書』，2014.3

（環境コンテスト）eco japan cup 2013 において「エコまちづくり大賞」「東急グループ賞」受賞，2014.2

（社会活動）鹿児島市と連携した小学校出前授業（2014年度は，桜丘東小，西田小，桜

峰小，山下小，中山小に各3回の授業を提供)

(社会活動) 鹿児島市と連携した小学校教員向け生ごみのリサイクル授業の解説，鹿児島市立広木小学校，2014.9

(講演) 「新しい何かを生み出す『創発』の手法とその実践としてのエコスイーツ活動」  
かごしま環境未来館，2014.2

(講演) 「ディズニーに見るホスピタリティ・マネジメントの秘密」 鹿児島商工会議所，  
2014.4

(講演) 「マネジメントにおける組織と個人」 J A 園芸農業法人クラブ，2014.9

(講演) 「素人の経営学者が環境ビジネスに手を出したら，こうなりました」 NPO 法人  
広島循環型社会推進機構，2014.9

桑原 司

<その他>

書評「伊奈正人著『C・W・ミルズとアメリカ公共社会——動機の語彙論と平和思想——』」  
『西日本社会学会年報』第12号 (2014年3月)。

王 鏡凱

<発表論文>

1. 「Modigliani and Miller (1961) の仮定の妥当性に関する考察」，『九州地区国立大学教育系・文系研究論文集』，2巻1号，2014年10月。

2. 「アメリカの有配企業比率の低下現象について」，鹿児島大学法文学部『経済学論集』，  
第83号，2014年10月。

大芝 周子

<著書>

(共著)

「企業と知識創造」『企業の知識理論』中央経済社，pp.72-87，2014年6月。

澤田 成章

<学会報告>

「数理計算上の差異の償却年数と研究開発投資の関係」日本会計研究学会 (横浜国立大学)，2014年9月。

「数理計算上の差異の償却年数と研究開発投資の関係」日本経営財務学会 (明治大学)，  
2014年10月。

平井 一臣

< 著書 >

(共編著) 畑山敏夫・平井一臣編『ポスト・フクシマの政治学』法律文化社, 2014年5月。

< 発表論文 >

「短命内閣から見る戦後日本政治 (1)」鹿児島県地方自治研究所『自治研かごしま』, 107号, 2014年6月。

< その他 >

「厳しい時代だからこそ - いま自治体職員に求められるもの - 」自治研中央推進委員会『月刊自治研』2014年1月。

片桐 資津子

< 発表論文 (単独) >

「米オレゴン州の尊厳死——州政府による統計と専門職への聞き取りからの考察——」北海道社会学会編『現代社会学研究』第27号, 55-71, 2014年6月。

「特養経営モデル再考——地方部に立地する2つの従来型特養の事例研究——」ソシオロゴス編集委員会編『ソシオロゴス』第38号, 18-44, 2014年11月。

< 学会報告 (単独) >

「特養の看取りケアの現状と課題」第62回北海道社会学会 (札幌大谷大学), 2014年6月7日。

“The Meaning and the Role of Clothing for Elderly Women,” ISA RC 11 Conference (Distributed Paper), Yokohama, Japan, July 19, 2014.

(ワークショップ)

“The Meaning and the Role of Clothing for Elderly Women,” Oral-presentation Workshop, Tokyo University, Japan, March 28, 2014.

林 亮輔

< 発表論文 >

「地域政策と空間構造 - 企業活動に基づいた都市圏域の設定 - 」, 単著, 『経済学論集』(鹿児島大学法文学部), 第83号, pp.125-137, 2014年10月。

< 学会報告 >

「都市行政における効率性の検証」, 単独報告, 日本財政学会第71回全国大会 (中京大学), 2014年10月。

< その他 >

(シンポジウム)

「平成26年度実践型地域雇用創造事業シンポジウム（主催：厚生労働省職業安定局）」、  
総合司会，東京国際交流館，2014年10月16日。

「平成26年度協議会事業推進員等・労働局担当者経験交流会（主催：厚生労働省職業  
安定局）」、パネルディスカッションメンバー，東京国際交流館，2014年10月17日。

(新聞)

「わが町フラッシュ 関平鉱泉 年商10億円に挑む」、『南日本新聞』（南日本新聞社），  
pp.14, 2014年7月4日。

菱山 宏輔

< 著書 >

(分担執筆)

「モビリティとセキュリティの空間」、『交響する空間と場所』法政大学出版，pp.165-204，  
2015年1月。

< 論文 >

「1960年代前半における東京都町内会の自治意識とその包摂——防犯灯問題から東京オ  
リンピックへ」、『地域社会学会年報』，Vol.26, pp.91-104, 2014年5月。

< 学会報告 >

“Policing and Autonomy of Community: Comparative Study of Japan and Indonesia”, International  
Sociological Association, Pacifico Yokohama (横浜)，2014年7月16日。

< その他 >

(報告書)

「地域防災における大学・指定避難場所・地域社会の役割と関係性についての災害社会  
学的研究」，鹿児島大学地域防災教育研究センター『南九州から南西諸島における総合的  
防災研究の推進と地域防災体制の構築』（平成25年度国立大学法人運営費交付金特別経費  
(プロジェクト分)——地域貢献機能の充実，pp.27-32, 2014年3月。

(シンポジウム)

“Urbanization and Increase of Waste in Green Island of Bali: Perspective from Collaboration,  
Creativity, and Community”, International Conference “Solidarity Activities for Sustainable  
Society”, Budi Luhur University (インドネシア)，2014年9月19日。

(招待講演)

「連結都市以及自然環境的創造性&人之關聯」，新竹県政府環境保護局，『新竹縣金秋環境  
季系列活動環保科技國際論壇』，中華民國新竹県工研院國際會議場 (中華民國)，2014年10  
月22日。

「旅行觀光業新發展趨勢(日本以及巴里島經驗)」，高苑科技大學應用外国系，『高苑科技大  
學應用外国系名人講座』，高苑科技大學 (中華民國)，2014年10月25日。

(招待報告)

「バリ島の地域セキュリティとゲーテッド・コミュニティ」, 国立民族学博物館研究プロジェクト『「統制」と公共性の人類学的研究——ミャンマーにおけるモノ・情報・コミュニティ研究会』, 国立民俗学博物館, 2014年6月30日.

(特別講義)

“Creativity and Environmental Factors for Sustainable City: from the viewpoint of urban sociology”, Budi Luhur University, 3rd General Lecture on Sustainable Society in Center for Environmental Studies, Budi Luhur University (インドネシア), 2014年12月8日.

(講演)

「広域災害時における都市部地域防災の課題」, 鹿児島大学地域防災教育研究センター・東北大学リーディング大学院合同イベント『歴史・文化・地域から災害を学ぼう』, かがしま環境未来館, 2014年12月14日.

(講師)

「都市部における地域防災」, 中央・上町地域まちづくりワークショップ『第4回まちづくり交流会』, アクアガーデンホテル福丸, 2014年11月8日.

「事故を予防できる地域づくり『セーフコミュニティ』: 地域防犯と都市部広域災害から持続可能なコミュニティへ」, 鹿児島市『2014年度鹿児島市安心安全アカデミー』, かがしま市民福祉プラザ, 2015年1月31日.

山本 一哉

< 発表論文 >

「円安と日本経済の動向」, 『自治研かごしま』 鹿児島県地方自治研究所, No.106, pp.44-56, 2014年3月

井原 慶一郎

< 発表論文 >

「小説と映画『静かな生活』はいかにしてアクション映画になったか?」 鹿児島大学法文学部『人文学科論集』第80号, 2014年6月

< その他 >

(書評)

「レフ・マノヴィッチ著『ニューメディアの言語 デジタル時代のアート, デザイン, 映画』, 堀潤之訳, みすず書房, 2013年9月」『日本映画学会会報』第38号, 2014年3月

「Malcolm ANDREWS, *Dickensian Laughter: Essays on Dickens and Humour*, Oxford University Press, 2013年」『ディケンズ・フェロウシップ日本支部年報』第37号, 2014年11月

福山 博文

< 発表論文 >

「プロスポーツ選手の雇用契約における利用可能性ヒューリスティックスの検証」, 鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科『地域政策科学研究』第11号, pp.27-40, 2014年3月.  
“Optimal Privatization and Environmental Regulation in a Differentiated Mixed Oligopoly,”  
*Studies in Applied Economics*, Japan Association for Applied Economics, Vol.7, pp.60-78,  
2014年3月.

日野 道啓

< 発表論文 >

「APEC 合意の意義と「総合的アプローチ」による環境物品の特定化に関する考察」  
『経済学論集 (鹿児島大学)』 Vol.83, pp.85-104, 2014年10月.

< 学会報告 >

Contemporary International Trade Issues and the Challenge of Environmental Goods Trade Negotiations, the International Conference 2014 of Korea Trade Research Association (Sungkyunkwan University), December 2014.

< その他 >

(研究会報告)

「APEC 合意の意義と環境物品の特定化に関する試論」金融・理論研究会 (九州大学),  
2014年2月.

(著書)

『偏差値28の僕の人生を変えた「一点突破」勉強法』大和出版, 2014年11月.